

各時刻（真太陽時）における新建築物や既存建物等の日影と日影時間は、以下に示す理論式を用いて求めた。

1．太陽の位置

太陽の位置は、高度 h と方位角 A を用いて次式より求めた。（図-1 参照）

$$\text{太陽高度} : \sin h = \sin \varphi \cdot \sin \delta + \cos \varphi \cdot \cos \delta \cdot \cos t$$

$$\text{方位角} : \sin A = \cos \delta \cdot \sin t / \cos h$$

h : 太陽高度（度）

A : 方位角（度）

φ : 事業予定地の緯度（度）

δ : 冬至日における太陽の赤緯（度）

t : 時角（度）

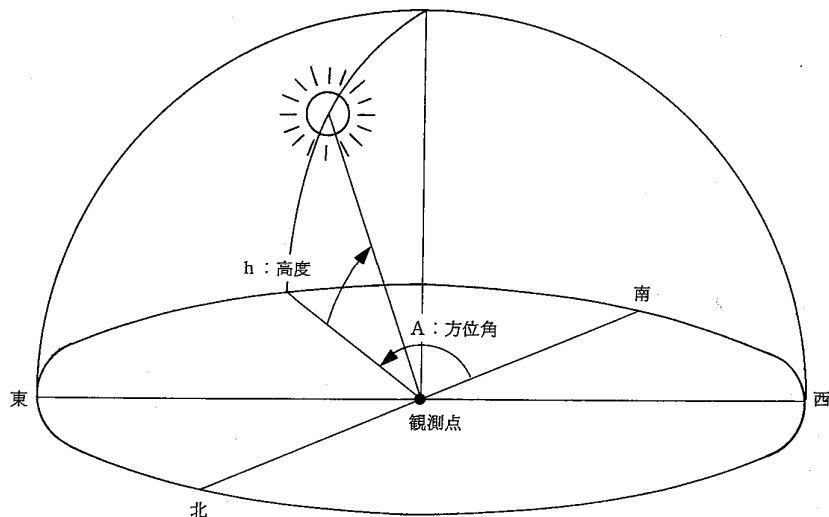


図-1 太陽高度と方位角

2．日影長計算

新建築物や既存建物等からの日影長は、次式より求めた。

$$Z = H \cdot \cot h$$

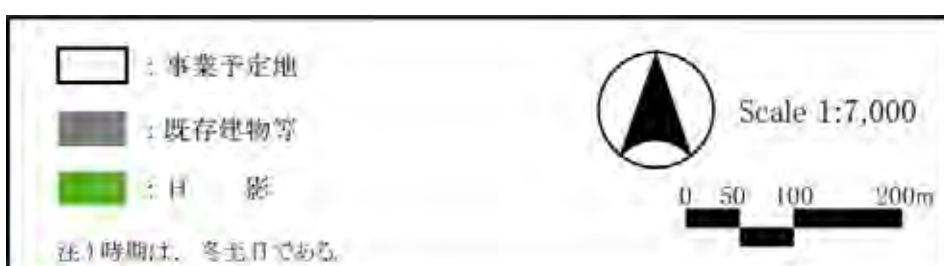
Z : 日影長（m）

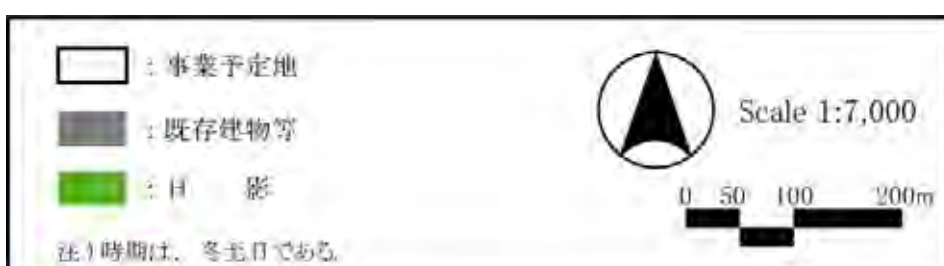
H : 建物と計算面の高低差（m）

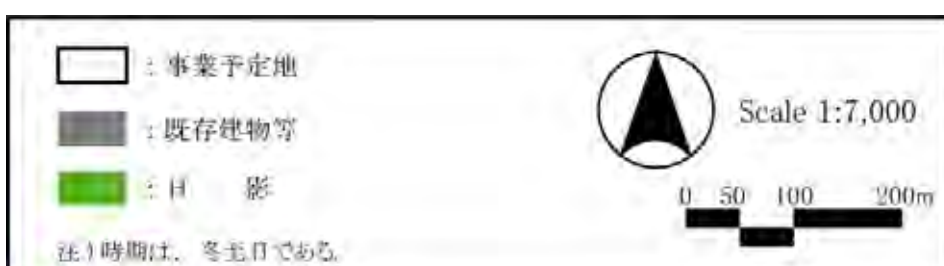
h : 太陽高度（度）

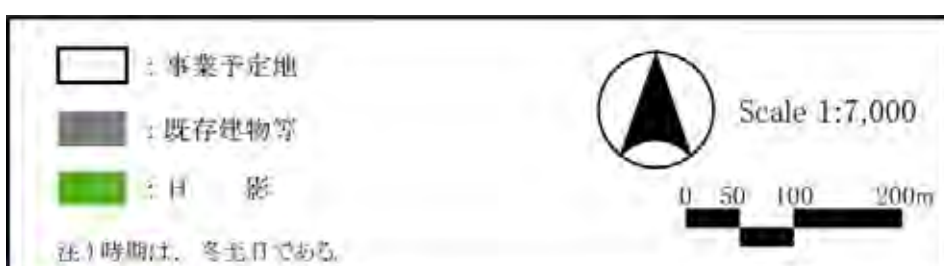
事業予定地及びその周辺の既存建物等による現況の時刻別日影図（平均地盤面 + 4.0m）は、以下に示すとおりである。











事業予定地周辺建物等を含む時刻別日影図(平均地盤面 + 4.0m)は、以下に示すとおりである。

